



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成27年12月28日



大農林水産祭&津軽海峡ブランド博



各ブース前には多くの人だかり



フラワーアレンジメント教室

**平成27年度**  
**受講生募集中!** 

地域中小企業の人づくりをめざして  
**問屋町ビジネススクール**

## 大農林水産祭&津軽海峡ブランド博に 3万7千人が来場

11月7日(土)、8日(日)の2日間、第二問屋町にある青森産業会館において、「第6回せくぶんぶあおもり大農林水産祭」と「2015津軽海峡ブランド博」が合同開催された。青森でも有数の集客力を誇る2大イベントがタッグを組んだ今回は、2日間合計で3万7千人もの来場者を集め、会場内は常に超満員。お目当ての商品や掘り出し物を求める買物客で熱気に溢れていた。「せくぶんぶあおもり大農林水産祭」は、青森の食の魅力を県内外に発信するため、青森県の豊かな農林水産物や加工品、ご当地グルメなどを紹介・販売するイベントとして開催。「津軽海峡ブランド博」は、津軽海峡を挟んだ青森県の東青地域と北海道の道南地域のブランドづくりを目的として青函地域の逸品が一堂に会する展示即売会。今回は、北海道新幹線開業を控えるこの時期に2つのイベントを合同開催し、秋の大収穫祭として食の魅力を伝えた。

イベントには、青森県はもちろん道南地域からも数多くの出展。120もの団体が地元の優れた農林水産物や加工品、ご当地グルメを販売し、人気店の前には長蛇の列が作られていた。

その他、大間マグロの解体ショーやご当地アイドルショーなどのステージイベントに加え、あおもり食命人による鍋の無料ふるまいや県産牛焼肉の試食もあり、来場者は大満足の様子であった。

11月19日(木)、問屋町会館会議室において、男性を対象にしたフラワーアレンジメント教室(青森問屋町経営同友会委託事業)を開催した。同教室には組合員従業員ら20名が参加し、11月22日の「いい夫婦の日」を前に、妻への日頃の感謝を花にこめ、色とりどりの花を組み合わせていた。

当教室は県産花卉の消費拡大を目指す「あおもりの花・特得ウィーク」の一環で行われたもので、青森県花のくにづくり推進協議会の協力のもと開催。日本フラワーデザイナー協会所属の藤森氏と高野氏の指導のもと、参加者は試行錯誤しながら約1時間かけて作品を完成させた。

参加者からは「妻に渡したところが、一瞬怪訝な顔はされたが嬉しそうに水やりをしていた」「妻が思いのほか喜んで

## 妻への日頃の感謝を花にこめて フラワーアレンジメント教室開催



作品を前に笑顔の参加者

問屋町合同清掃の表彰  
と承認  
第6回理事会

11月25日(水)に第6回理事  
会が開かれ、審議の結果、  
全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町  
緑のボランティア隊の活動や  
平成27年度決算予想について  
報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。  
案件一・環境対策委員会から  
の意見について

問屋町合同清掃の表彰や問  
屋町内除排雪作業の委託、問  
屋町美化・緑化カレンダーの  
作成が承認された。

案件二・平成27年度卸商業団  
地機能向上支援事業特別委員

団地組合女子職員で研修会開催

県内の卸団地で組織される  
青森県流通団地連絡協議会  
は、第1回団地組合女子職員  
研修会を11月13日(金)に盛  
岡市の協盛岡卸センターで開  
催した。今回は県内だけでな  
く東北各地の卸団地からも組  
合女子職員が参加し、総勢17  
名で研修が行われた。

はじめに、協盛岡卸セン  
ターの村松事務局長が組合の  
概要を説明。つづいて、同組  
合組合員である、㈱サンメ  
ディカル常務取締役である福  
田裕子氏を講師に招き、「人  
生の主導権を取り戻す」を

会からの意見について

案件三・第49回通常総会の日  
程等について

案件四・平成27年度第7回理  
事会の日程等について

理事会終了後には、青森問  
屋町配送㈱の第3回取締役会  
も開かれ、提出案件全て原案  
どおり承認された。

減価償却について  
第2回税務研修会

講師に青森税務署の谷地田  
審理専門官を招き、11月18日  
(水)、問屋町会館会議室で  
第2回税務研修会が開かれ、  
組合員18名が参加した。

【減価償却について】

テーマに講演を実施。

福田常務は「自分をよく知  
り、足りない部分に挑戦して  
いく気持ちが必要。客観的に  
他人も自分も見られるように  
なると人生の幅は広がる。自  
分の人生は常に自分で選択し  
ているため、人生はその人次  
第であり、無意識の内に行っ  
ていることを意識的にやって  
いくと、より良い人生になる」と  
話し、参加者の心に強く響  
いていた。

研修会終了後には盛岡卸セ  
ンター館内や物流センターを  
見学。その後行われた懇親会  
では、各卸団地の情報交換な  
どを行い、交流を深めた。

①減価償却できるのは、購入  
先に支払った代金、引取運賃、  
購入手数料、またそれに係る  
費用。不動産取得税や自動車  
取得税、登録免許税や登記に  
関する費用も取得価額に算入  
できるが、一度取得価額に算  
入した場合、その後の事業年  
度で抜き出して損金処理はで  
きない。

②償却方法には定額法と定率  
法があり、法定償却方法とし  
て、建物は定額法のみであ  
り、それ以外の建物を除く有  
形減価償却資産は基本的には  
会社の届出によりどちらか選  
択することが可能。届出をし  
なかった場合は定率法とな  
る。

③中古資産を取得して事業の  
用に供した場合には、その資  
産の耐用年数は法定耐用年数  
ではなく、その事業の用に供  
した時以後の使用可能期間と  
して見積もられた年数による  
ことができる。

④使用可能期間が1年未満の  
もの又は取得価額が10万円未  
満のものは、取得時に全額損  
金処理処理できる。

取得価額が10万円以上20万  
円未満の減価償却資産につい  
ては、一定の要件の下で、そ  
の減価償却資産の全部又は特  
定の一部を一括し、その一括  
した減価償却資産の取得価額  
の合計額の3分の1に相当す  
る金額を、その事業の用に供  
した年以後3年間の各年分に  
おいて必要経費に算入するこ  
とができる。

また、少額資産の中小企業  
者の特例として、取得価額  
10万円以上30万円未満の減  
償却資産については、一定の  
要件の下で、その取得価額の  
合計額のうち3百万円に達す  
るまでの取得価額の合計額  
を、その事業の用に供した年  
分の必要経費に算入できると  
いう特例がある。この特例は  
延長も想定されるが、現在の  
ところ平成28年3月31日まで  
となっているため、ぜひ活  
用いただきたい。

研修ではその他、固定資産  
の圧縮記帳についてや、マイ  
ナンバーの記載が必要な税関  
連書類の実務についての説明  
がなされた。



団地組合女子職員研修会

忘年会で1年の締めくくり

青森問屋町経営同友会の忘  
年会が12月3日(木)にホテ  
ル青森で開催され、会員他32  
名が参加した。

忘年会では特別企画として  
マジックショーを開催。マジ  
シャンのトニーいしだ氏が目

の前で繰り広げるマジック  
に、参加者は目を丸くして驚  
いていた。  
その後はじゃんけん大会を  
行うなどし、1年の締めくく  
りとなる忘年会を楽しんだ。  
また、11月19日(木)に  
は、問屋町支店長・所長連絡  
会の第20回親睦交流会兼忘年



マジックを楽しむ同友会会員

会がウェディングプラザアラ  
スカで行われ、同会会員ら23  
名が参加。1年を振り返りな  
がら歓談した。  
近年、両会共に会員間の交  
流が深まっており、その効果  
は各種事業の参加者数増加に  
如実に表れ、組合活動の活性  
化につながっている。



支店長・所長連絡会 忘年会

豊かな住宅環境と快適な暮らしを追求します



青森支店 TEL 017-739-4551  
FAX 017-739-4145  
弘前・八戸・大館・仙台・秋田



宇部三菱セメント㈱特約店



株式会社 青森カイハツセメント

本社 青森市第二問屋町三丁目6番12号  
電話(017)739-2436(代)

八戸支店 むつ営業所 五所川原営業所

### インフルエンザの流行期を前に集団予防接種を開催

インフルエンザの集団予防接種が10月29日(木)、11月5日(木)の2日間、問屋町会館2階大会議室で開催された。

今回はインフルエンザの流行期が例年より早まりそうとの情報から、2週間ほど早く実施。今年で5回目となる同予防接種は年々受診者数が増え、今年は組合員及び近隣企業の従業員をあわせ630名が受診。昨年度の515名を大きく上回り、当初(平成23年度)の67名と比較すると10倍にも増えている。



インフルエンザ集団予防接種

組合では、青森市南部の健康づくりの拠点となるべく、インフルエンザの集団予防接種をはじめ集団健康診断の内容を充実させるなど、各種健康事業に積極的に取り組み、安定した企業活動を行えるよう支援していく。

### 津軽の7つの神社を巡礼 北斗七星巡り

今年で3回目となる問屋町支店長・所長連絡会主催の北斗七星巡りが11月11日(水)に開催され、同会会員ほか15名が参加した。

北斗七星巡りは、坂上田村麻呂により建立されたといわれる北斗七星の形で配された津軽地方の7つの神社を巡礼するもの。問屋町の大星神社を起点に巡礼すると商売繁盛にご利益があるといわれる。当日は、大星神社において沼田禰宜(ねぎ)によるご祈祷を受け、11時1分にスタート。小雨降るあいにくの天候



北斗七星巡り

であったが、各神社に近づくと不思議と雨脚が弱まったり、日が差しこんできたりと、早速、神がかった体験をした。参加者たちは7つの神社を巡り、これまでのお礼と商売繁盛を願い、一心に祈りを捧げた。

### 問屋町たんしん

平成28年組合員新年会  
日時 1月8日(金)  
午後6時～8時  
場所 ホテル青森  
3階 孔雀の間  
参加料 1人 3,100円  
問合先 卸センター事務局  
☎73814711

### 業務報告

#### 主要事項

11月  
5日▽インフルエンザ集団予防接種②

- 7日▽安協問屋町支部交通診断
- 7日▽津軽海峡ブランド博(～8日)
- ▽青森公立大学フィールドスタディ
- 9日▽卸商業団地機能向上支援事業第2回特別委員会
- 10日▽問屋町納税貯蓄組合第45回定例会
- ▽青森法人会優良経理担当者表彰式
- ▽全国卸商業団地協同組合連合会トップセミナー
- ▽青森市産業振興財団三役会
- 11日▽問屋町支店長・所長連絡会北斗七星巡り
- 13日▽あおもり市民健康アツ

- 14日▽大星神社新嘗祭
- 16日▽金融審査会
- 18日▽第2回税務研修会
- ▽全国中央会全国大会(～21日)
- 19日▽問屋町支店長・所長連絡会第20回親睦交流会・忘年会
- ▽問屋町経営同友会フラワーアレンジメント教室
- 20日▽第3回環境対策委員会
- ▽第39回問屋町ボウリング大会
- 24日▽国内経済視察会反省会

- 25日▽第6回理事会
- ▽青森問屋町配送(株)第3回取締役会
- 27日▽全国卸商業団地協同組合連合会東北ブロック会議
- …問屋町ビジネススクール…
- 4日▽商業簿記3級取得講座⑩
- 11日▽商業簿記3級取得講座⑪
- 12日▽総務管理の基礎の基礎(社内規程編)
- 18日▽営業研修(戦術編)
- 24日▽給与実務の基礎の基礎(労基法・社保編)①
- 26日▽給与実務の基礎の基礎(労基法・社保編)②

●キズ、ヨゴレに100倍強い  
=スーパーハードコート

●紫外線に3倍強い  
=UVガード付き

●チリ、ホコリに強い  
=帯電防止機能

TDK代理店

## オリエント商会株式会社

青森市第二問屋町三丁目6-8 電話 739-0163(代)

お〜お茶 伊藤園

青森支店 支店長 太田 雅貴

青森支店 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3-6-35  
TEL.017-739-5711 FAX.017-739-9742

## 入 学 生 募 集 !

—地域社会を担う即戦力の情報処理技術者を育成します—

職業訓練法人 青森情報処理開発財団

### あおもりコンピュータ・カレッジ

青森市荒川字柴田129 TEL 017-739-1311  
URL : http://www.acc.ac.jp

総合断熱資材・空調部材

## Q (株)オー・ケー・アイ

〒030-0131  
青森市問屋町二丁目20-7  
TEL(017)764-1105  
FAX(017)728-3371

### 熱戦が繰り広げられた 問屋町ボウリング大会

今回で39回目を迎える問屋町ボウリング大会が、11月20日(金)にイーストボウルにて開催。労務対策事業の中で最も歴史ある同大会には、27組81名が参加した。



問屋町ボウリング大会

### 手作りスイーツ販売

問屋町会館内にある「問屋町ストア」において、手作りスイーツの販売がスタートした。

販売するスイーツは、青森市旭町にあるC&Y(キャン



キャンディのスイーツ



カンパーニュのスイーツ

デイ)と東津軽郡外ヶ浜町のCampagne(カンパニー)が協力。どちらのお店も地元食材にこだわった手作りのスイーツで、多くのファンに愛されている。問屋町ストアでは、キャンディが提供するロールケーキや焼きドーナツ、カンパーニュからは米粉を使った無添加・無着色のクッキーやシフォンケーキ、ワッフルがラインナップに並ぶ。ロールケーキは毎週木曜日、シフォンケーキとワッフルは毎週火曜日に数量限定での販売となっている。ぜひ一度ご賞味あれ。

### 団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、今年4月に支店長に就任された、昭産商事(株)の川口支店長にお話を伺った。

同社は、小麦や大豆、菜種、トウモロコシなどの穀物を中心に扱う食品メーカー昭産商事(株)のグループ会社であり、グループ唯一の商社として昭和24年に創業。食に関する多様な商品を取り扱い、現在は北海道から福岡まで全国12支店を有し、全国規模のネットワークを強みに地域に根差し、お客様のニーズに応えるビジネスを展開している。

「当社は、様々な使われ方をする食品原材料を中心に、良質な



昭産商事(株) 支店長 川口 誠市氏

食品を多様に提供する「食品事業部門」、配合飼料の販売と生産に欠かせない「飼料事業部門」、自動車やOA機器等のリース、各種損害保険と生命保険を取り扱い、万が一の時の安心をお届けする「保険代理店」・「リース事業部門」の3部門でフードビジネスをサポートしています」と話す。

「業界の現状について話が及ぶと、青森では、大手スーパー等の出店により、地元企業の縮小・閉店が多くなっています。当社の本社は東京ですが、青森に進出してから約45年が経ち、これまで地域に密着して営業してきました。」

「問屋町ニューフェース」でインタビューを受けていたんです。今から34年前ですね。あの頃は若かったなあ」と当時を懐かしむ姿が見えた。

新たな取り組みでは、「近年、農水省は米の需給バランスや家畜飼料の輸入依存を解消するため、水田で飼料用米の作付けを推進しており、当社でも、生産者と飼料メーカーの仲介を東北6県で手掛けている最中です」とアピール。

「問屋町の印象について尋ねると、元々青森出身で、地元の高校卒業後すぐに当社に勤め、1年目に実はこの卸センターニュースの

「ゴルフが好きです。青森に帰ってきてから再開したのですが、少しプランクがあつたせいか納得のいくスコアが出ず、来年度の課題です。それと猫を4匹飼っており、遊んで欲しいように部屋までついてくるので、猫と遊ぶのが日課になっています。日々の癒しになっていますね」と優しく話す。

### 編集後記

組合の直接事業ではありませんが、青森産業会館主催の「津軽海峡ブランド博」と「あおもり大農林水産祭」が共催され、成功裡に終えることができました。今回は156の小组数で、この種のイベントとしては県内最大規模となりました。来年以降も成功させたいものです。▼先号で香川県には「シエア世界一の会社4社」「シエア日本一の会社7社」のニッチトップの会社が多いことをお知らせしましたが今回はその理由について▼経営コンサルタントの香川氏によると香川県は①大企業の依存度が低く、特定業種に偏らない産業構造②首都圏と距離があることから、逆に攻めるビジネスモデルを作った③今まで培った技術を活かした事業活動・産業集積の存在があった。とのこと▼ニッチトップの企業になるためには(A)下請けにならないこと。そのためには①ターゲットを決める②どうやったら価値を感じてもらおうか③ターゲットトニースは自分でつかむ(B)自社企画で問題解決をすること。そのためには①必ずしも自社の設計でなくてよい②自社で製造しなくてもよい③自社で企画する(C)真似されないこと。そのためには①真似されない仕組みにする②知財の取り方を考える③真似されない市場を選ぶ④次々新しい価値を提案する仕組みを考へることなどが必要です▼「稼ぐまちが地方を変える」については次号となります。皆様よいお年をお迎えください。(藤本)

プロテオグリカン専門店

# アレック

株式会社 角弘  
プロテオグリカン研究所  
〒030-0113  
青森市第二問屋町3-10-10  
TEL:017-29-8814 FAX:017-729-8874  
http://www.kakuhiro.co.jp/

新美容・健康成分『プロテオグリカン』各種製品取り揃えております

【店舗】  
問屋町ストア TEL:017-728-9101 青森市問屋町2-17-3  
アレックPG青森店 TEL:017-723-2100 青森市新町2-6-29 kbsビル1F  
アレックPG弘前店 TEL:0172-32-2481 弘前市神田3-2-3 角弘弘前支店内  
アレックPG五所川原店 TEL:0173-35-3155 五所川原市広田柳沼91-3 角弘五所川原支店内  
アレックPGむつ店 TEL:0175-22-1394 むつ市仲町14-13 角弘むつ支店内  
アレックPG十和田店 TEL:0176-23-3545 十和田市三本木野崎40-556 角弘十和田支店内

\*店舗によって営業時間が異なりますので、詳しくは各店舗までお問い合わせください。